第 156 期（オンライン＋集合（東京））

東京ガス株式会社　壱岐　遥様

１．受講目的

私が本講座を受講した目的は、大きく 2 点あります。

1 点目は、物流を体系的に学ぶことで基礎知識の底上げを図ることです。物流用語の理解から始め、具体的な業務における一般的な考え方や構造を把握することで、問題解決力の向上につなげたいと考えました。

2 点目は、物流にとどまらず、生産・調達等を含めた全体最適を実現できるようになることです。モノの流れは物流だけで完結するものではなく、生産や調達など複数の工程を経て成り立っています。そうした一連の流れを俯瞰し、物流の視点から全体の課題解決に貢献できるようになることを目標に受講しました。

２．本講座を受講して有用だったこと

実務経験豊かな講師陣による実践に即した講義は、大変役立ちました。実体験に基づく内容だからこそ、教科書だけでは得られない考え方や視点を学ぶことができました。

また、講義の受講にとどまらず、グループディスカッションの機会が設けられていた事も印象的でした。他業種の方々と切磋琢磨しながら問題解決に取り組む中で、多様な視点や考え方に触れることができ、有意義な経験となりました。

３．今後の抱負

スモールステップであっても、物流の視点から全体の課題解決に貢献していきたいと考えています。そのためにも、小さな課題であっても見逃さず、着実に解決へ向けたアクションを積み重ねていきたいです。

第157期（オンライン+集合（大阪・名古屋））

タカラベルモント株式会社　北川　尚史様

１．受講目的

私が勤務している化粧品ターミナルでは、在庫過多やWMS更新、輸配送の改善など、多くの課題を抱えており、これらを体系的に学び、論理的に解決していく力を身につけたいと考えておりました。特に、配送破損や積載効率の改善といった課題を場当たり的に対応するのではなく、根本から見直して改善につなげたいという思いが強く、本講座を受講致しました。

２．本講座を受講して有用だったこと

　講座では、在庫管理・輸配送・WMS・包装といった領域を体系的に学ぶことで、現場で起きている問題を“つながり”として捉える視点が身につきました。なかでも、QC 七つ道具やR-f 分析を用いた原因整理の手法は、配送破損の把握や改善検討にもすぐ活用できました。また、共同配送やDFLといった、関わりの少ない分野への理解も深まり、改善の視野が広がりました。学んだ内容が実務と結びつく場面も多く、講座と現場の連動を実感しております。

３．今後の抱負

　今後は、講座で得た知識と分析手法を活かし、在庫適正化やDFL推進、輸配送の効率化といった取り組みを、部分最適にとどまらず“全体最適”の視点で進めていきたいと考えています。配送破損や積載効率の改善についても関係部署と連携し、サプライチェーン全体で最適な仕組みづくりを目指しながら、物流が会社全体の価値向上に貢献できるよう、今後も学びと実践を積み重ねていきたいと思います。

第158期（集合（東京））

株式会社ファミリーマート　尾形　卓磨様

１．受講目的

　私は部内からの推薦をきっかけに、本講座を受講しました。これまで実務の中で物流に携わってきましたが、体系的な研修を受ける機会がなかったため、「一度しっかりと基礎から知識を深めたい」と考えたのが受講の動機となりました。また、自社の物流における課題を客観的に捉え、具体的な改善策を立案するための手法を習得することも大きな目的でした。

２．本講座を受講して有用だったこと

　多様なカリキュラムを通じて、普段の業務では関わりの少ない領域についても知見を深めることができ、自身の視野が大きく広がりました。通常業務をこなしながらの受講や課題への対応は、体力的にも精神的にも大変な面がありましたが、グループワークを通じて出会った仲間たちに支えられ、最後まで楽しく、かつ刺激を受けながら受講することができました。異なる業界や職種から集まった仲間との交流は、机上の学習以上に多くの気づきを与えてくれる、かけがえのない経験となりました。

３．今後の抱負

　本講座で得た知識や改善手法、そして同じ目標に向かって一緒に頑張った仲間との繋がりは、私の大きな「引き出し」となりました。今後はこれらを活用し、物流技術管理士の名に恥じないよう、自社の物流改善と発展に貢献できるよう励んでまいります。